

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0194600466		
法人名	社会福祉法人 慧誠会		
事業所名	グループホーム 帯広けいせい苑 りんごの木		
所在地	帯広市新町西6丁目55		
自己評価作成日	平成 30 年10月22日	評価結果市町村受理日	平成 31年3月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhvou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=0194600466-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町5丁目2-35コーポラスひかり106号
訪問調査日	平成30年11月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームは、利用されている方にとって「長年暮らしてきた家ではありません。」しかしながら、ここで生活して頂ける皆様にとって、心地よい暮らしが営める場所であることに努めます。当たり前が当たり前。必要な家事なども皆様と。生活の一つ一つに笑いを。その積み重ねが重要だと確信しています。季節を感じる散歩や外出。買い出しからのお祝い事等の行事。同法人内の行事の参加等「心地よい疲れと楽しさの実感」に努めます。又、法人内合同職員会議・各種研修等、職員の質を高めることが、利用される皆様にとって何より重要な事と捉え実施しています。普段の挨拶から始まる近隣の皆様とのつながりも大切に育てていくことを大切にいたします。利用されている皆様・ご家族、地域の皆様にとっても必要とされる事業所であり続けるための努力を忘れません。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所はJR帯広駅に近い新興住宅地であって近くの帯広川河川敷の堤防は、桜や木々の緑を楽しみながらの散歩コースになっている。当法人は多くの福祉施設などを運営し、職員指導、教育も行き届き、法人で合同職員会議を行って情報交換を綿密に行い事例を共有して質の高いケアに努めている。木造平屋建ての事業所は全居室東南向きで明るく、共用空間は清潔で、温・湿度も適正に管理され、家庭的な雰囲気を利用者の表情は非常に明るく穏やかであり日々の共同生活の楽しさが滲み出ている。町内会へ加入し、散歩や買物時などで近隣の方々と挨拶を交し交流を深めている。また、運営推進会議や避難訓練にも地域住民が参加し常に密接な連携を保っており、胆振東部地震のブラックアウトの経験を通して町内会の発電機貸与支援の申し出を受ける等の良好な関係を構築している。地域の短大社会福祉士実習生の研修を受け入れて協力関係を築いている。看取りへの取組みについても前向きで、日頃から医師の指導支援を得て態勢を整えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果		項目	取り組みの成果	
	○	↓該当するものに○印		○	↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる(参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています(参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある(参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている(参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている(参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている(参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている(参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている(参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念はあくまでも目指すものこれで良いということはない為、日々の介護の中から話し合い、会議などでも確認し実践に当たっている。	職員は事業所理念をよく理解し、ミーティングや申し送り確認し職員で共有してケアサービスに繋げている。	独自の理念を作ってから年数が経過している事と、職員の理念に対する考え方が向上しているため、利用者と現状の運営、地域密着型サービスがどのように相互関係があるかを踏まえて理念を見直す機会と考えることを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	普段の挨拶や散歩や買い物途中の声の掛け合いなど、日々を大切にしています。	町内会に加入し、散歩時や買物等で地域住民が暖かく受け入れてくれるなど、交流を深めている。また、運営推進会議には地域住民が参加しており、事業所に対する理解を深めている。短大の社会福祉士実習生を受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居の相談を含め、現在の状況から必要と思われる支援の相談窓口へ、繋ぐことや必要なアドバイスをさせて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の皆様のご協力とご理解のもと異変災害時のマニュアル作成を見直し訓練の実施。又日頃のケア等に生かさせて頂いています。	町内会、地域包括支援センター、地域知見者、家族等が参加して年6回開催している。運営状況や災害訓練の報告、利用者の動向に関する報告を行い意見や助言などを得て、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	利用されている方々の申請事や事業所における必要な事柄のご相談をさせて頂いています。又、各公的機関からの通達や連絡事項の実施	市役所に月2回訪問して、担当者と運営に関する事や申請に関する事などの助言や指導を受けるなど、日頃から協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束事例はないですが、不適切ケアが無いかなど日々の中から見あいながら、職員会議でも確認しています。運営推進会議でも確認して頂き状況報告。	事業所内部で拘束に関する委員会を設置して、2ヶ月毎に委員会活動と研修会を開催して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。研修を通じて職員間で意識や情報を共有している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修を生かし、知識を参加職員が事業所職員へ周知を行っています。		

グループホーム 帯広けいせい苑 りんごの木

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については、一般的な知識はあっても実際に制度利用者が現在いないため、手続きの実際等知らないことがある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約時は、必要な説明を行い、ご理解を頂けていると考察します。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用されている皆様に関しては、このことがすべてであるため日々当たっています。ご家族へは、来られた際に同程度実施し、運営推進会議でも確認いただく。	利用者の意見、要望は日常の会話から意向の把握に努め、家族とは来訪時や電話にて意見や要望を聞いて運営に反映させている。また、運営推進会議でも意見などが出され、運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の中から話し合い、職員会議など活用しています。	毎日のミーティングや職員会議、職員との面談で意見、要望、提案を話し合いながら、日々のケアサービスに反映させている。また、連絡ノートを活用することで運営や支援について意見をあげており、管理者はそれを汲み上げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内研修や職員会議などを活用し、整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や他事業所職員とのミーティング等、機会の確保と研鑽に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修や他事業所職員とのミーティング等、機会の確保と研鑽に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用を開始された方には、左記の内容が全てであるため実施しています。特に我々の存在が重要な影響を及ぼすことを自覚し、当たっています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用されている方にとって、欠いてはならない大切な存在であることを自覚し、ご家族の思いを大切につなぎをもつて当たっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	確認できた内容は、職員間で、共有し、ニーズに則した支援の提供に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	横に座らせてもらうこと・手を取り合うことに代表されることを日々行わせていただいています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ただ報告連絡をするのみならず、ご家族も大切にさせて頂きたい気持ちをもって努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日々の話題やご家族のお話から、行っていた場所等行ってみて「懐かしかったなあ」を大切にしています。	利用者との日々の会話や家族等から話を聴き、利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するよう努めている。利用者の懐かしい思いを蘇らせながら、馴染みの場所や友人・知人との関係が継続できるように支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	まさしく居間は、このためにも有る為、職員が仲介させてもらいながら良い雰囲気でご過ごしていただけるよう努めています。		

グループホーム 帯広けいせい苑 りんごの木

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了前後は必要な引継ぎや連絡を行い、ご本人ご家族が困ることの無い様に支援を行いました。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	笑顔に代表される「快」を最重要ケア内容として日々当たらせていただくよう努めています。	日々の関わりの中から思いや意向を把握し、困難な時は普段からの様子や状態を注意深く観察し、汲み取るように努めている。また、家族からの情報収集や職員間の相談などでできるだけ利用者の希望に沿うよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用されている方、ご家族に確認をして頂きながら把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	有されている力を生かして頂くよう、職員間で日誌・日々録以外にノートを活用し共有をしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者の各担当チームで必要な介護を検討し職員全員で共有し作成。ご本人はもとよりご家族の思いも大切にして計画にし確認して頂いています。	利用者や家族等の意向、職員の意見を取り入れて計画作成担当者が6ヶ月毎に介護計画を作成し、家族の署名捺印を得ている。心身の状態に変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画に見直し、家族等の確認を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	特に日々のご様子からより良い方法を考察し、実施してみて良かった時は、継続し見直しで必要な場合は生かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	当法人内には様々な職種が存在するため、必要時の相談を行っています。多機能化の幅は、まだまだ未発達であると考察します。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	帯広・十勝ならではの環境を楽しんでいただくことに心がけていますが、地域資源の活用も、もっと活用していきたいです。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通院時には同行させていただき担当医への日々のご様子の伝達、変化があった場合の相談、受診など対応を行わせていただいています。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医の受診を可能とし、その際は家族の同行を基本としている。また、家族同行が出来ない場合には職員が同行している。全ての診察内容は家族に報告した上、個人記録に記載して全職員で情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状況は基より、変化などはすぐ連絡をし、必要な対応を相談し、支援に当たっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医院の地域連携室とは、特に連絡を取り合い必要な情報の共有相談をさせて頂いています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時の「重度化した場合における指針」の説明し同意を頂く。担当医の見解があった場合等、今後についても意向を伺い、確認をさせて頂いています。	入所時に利用者と家族に「重度化した場合における対応に係わる指針」に基づき説明し同意を得ている。看取りはないが、早い段階から利用者や家族と話し合い、事業所ができることを十分に説明しながら指針を職員間で共有し、ターミナルケアを実践している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応は職員会議にて確認し、危険予測など日々から共有に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震の避難訓練の実施。又水害時の避難マニュアルを見直して具体的避難経路からマニュアル作成、訓練を実施いたしました。	避難訓練を年2回消防署の指導の下、町内会と連携を密に取りながら訓練を行っている。また、隣接の河川氾濫を想定した水害避難訓練を実施したり、ブラックアウトの経験から町内会より発電機の利用できる協力を得られている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	当たり前であることを自覚し実践に努めています。	利用者への尊敬を忘れず、プライバシーを損なうことのないよう接遇を実行し、利用者への生活環境を配慮する取り組みを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	当たり前であることを自覚し実践に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常にご本人のペースを大切に当たらせていただいているが、これで良いということがないことを自覚し努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その方らしい身だしなみが行えるように努めています。		

グループホーム 帯広けいせい苑 りんごの木

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を皆さんで食べることは、とても大切な時間と捉え支援に努めています。	利用者の能力に応じて、職員と一緒に準備や配膳、後片付けを行っている。利用者の希望を聞きながら季節食や誕生食を提供して利用者への食事の楽しみを支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べ方・好き嫌いを含めて栄養量・水分量が確保できるように努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各居室に洗面台が設置されているので食後のうがいや歯磨きを声掛け・介助させていただいています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要な方へは適宜トイレへのお声掛け・お誘いを行わせていただく。	排泄を記録してパターンを把握し、一人ひとりのタイミングに合わせてトイレ誘導をするとともに、利用者の様子により、トイレでの自立排泄を促している。布パンツの使用を促しているが、大半の利用者はリハビリパンツだが状態に合わせた排泄用品で対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	処方薬の他、牛乳・オリゴ糖・ヨーグルトを活用。上肢・下肢体操の実施。排便間隔の把握から努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	最低でも週2回の入浴は基より、流動的にご希望を生かして入浴をして頂いています。	週2回の入浴を基本としているが、利用者の体調の変化や希望があった際には、随時対応できる支援を行っている。入浴を拒む場合は、時間や担当者を替えて誘導している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や体力の考慮と心地よく眠れることを主眼として努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	症状などに変化があった場合は各かかりつけ医院に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人全員にいつも出来ているわけではないため、一層の努力をしていきます。		

グループホーム 帯広けいせい苑 りんごの木

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に沿って外出していますが、上記課題48同様の状況です。	利用者の希望に添って、散歩等の外出支援を行っている。通院時等は、寄り道をして買い物などを行い、利用者の気分転換が図れるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族了承のもと施設立て替えにて対応させていただきます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様が手紙を送ることは無く、電話を掛けられることが多くはないのが現状ですが、意向があった場合は、いつでもお繋ぎいたします。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	左記状況には気を配らせていただいています。又利用されている方々同士・職員も重要であることに気を配らせていただいています。	明るく広い居間や食堂は温度と湿度管理されており、過ごしやすい空間になっている。調理室からは利用者の動向が把握でき、常日頃安全面に配慮している。広い廊下には外出した時やホームのイベント時のスナップ写真等を飾っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広い空間ではありませんが、限られたスペースでご自身の存在が安定されていることが実感できるように努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	まだまだ工夫が必要と思われませんが、ご本人様が過ごされやすいように努めています。	馴染みの家具や仏壇などを持ち込み、家族の写真や外出した時のスナップ写真などを飾って居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯物等の乾き具合が触れる場所にあることや、いつもあるものがそこにあることを大切にしています。		